

平成28年度 青少年ふるさと学び隊(講演会)

『命の授業』 講師・腰塚隼人氏

「今の幸せに気づくことから夢は広がる」

1月26日に実施した平成28

年度青少年ふるさと学び隊「命の授業」に社会教育委員が参加した感想をお伝えします。

腰塚先生には昨年度、社会教育・

町P連の共催で講演を頂いています。今年度は、「ぜひ子供たちにも」との願いから、小中高生を対象に、社会教育の青少年育成事業(ふるさと学び隊)の一環として開催されました。「当たり前のごとくどほど幸せか」「自分のドリームメーカーを活かすためには」。腰塚先生の心をこめた授業です。

○腰塚氏のプロフィール

神奈川県生まれの元・中学校体育教師。スキーでの転倒で首を骨折、奇跡的に命は取り止めるが全身麻

痺の体に。その後、周りの献身的なサポートと懸命のリハビリで社会復帰。その体験を全国で公演し、「命の大切さ」を伝えていきます。

○授業からのメッセージ

手術は成功。しかし、首から下はまったく動かない。「人生終わった、死にたい」そればかりを考える毎日。

「何があっても、ずっと一緒にいるから」奥さんの言葉。「先生、待っているから」同僚と生徒達の言葉。優しさや強さをもらい、「一人じゃない、生きなきゃ」と奮起する自分。

麻痺した手足がだんだん動き始める。立ち上がり歩ける喜び。箸が使える、字が書ける喜び。「当たり前」のことに、感謝と幸せを感じるリハビリ生活。

皆さんも私のように「失敗」をして、辛い思いや悲しい思いをたくさんすることがあると思う。でも、その「失敗」を、「成長した証だ」と思い、自分を信じて「楽しく生きる努力」を続けてほしい。「生きていく」って、それだけで、本当に素晴らしいことだから。

○ドリームメーカーとは？

自分の可能性を信じ、夢を実現しようとする人、誰かの夢を応援する人、誰かを思いやり、寄り添って生きる人のこと。

あなたは想像以上に多くのドリームメーカーに助けられていることに気づくはず。「一生、寝たきり」の宣告から、奇跡の復活へ。それは、たくさんのドリームメーカーの存在と支えがもたらしてくれたもの。人は誰もがドリームメーカーであり、誰でもすぐに誰かのドリームメーカーになります。

自分の人生を決めるのは誰です

か。不平、不満、悪口は必ず自分のところへ、回り回って返ってきます。感謝の気持ち、人を思いやる行動は、巡り巡ってあなたを助けてくれるでしょう。いじめ、自殺などのニュースが流れる度、命の大切さを感じます。「命の喜ぶ生き方」「命をどう使うか」を、子供たちは学んだことでしょう。「夢は今を生きる力」のメッセージをしっかり受け止め、今まで以上に素敵な生活を送って欲しいと思います。(A・S)

